

I. 評価指標関係(文部科学省への必須報告分)

【地方創生や「食・農」に関わる事業】

1. 地方創生や「食・農」に関わる委員会等への参画や地域課題把握のための機会の増加状況
 - (1) 関係自治体委員会等への参画
 - (2) 地方創生会議やリエゾンサロンの開催
2. 地方創生や「食・農」に関わる研究成果を創出し、共同研究・寄附講座の受託への発展状況
 - (1) 寄附講座
 - (2) 受託・共同研究
3. 地方創生や「食・農」に関わる研究成果の地域への還元機会の増加
 - (1) 研究成果の公表
 - (2) セミナーでの報告・提言

II. 独自項目関係

4. その他
 - (1) 学会発表・研究会報告
 - (2) 競争的資金等による研究活動
 - (3) その他(雑誌論説、研究報告書・研究資料、新聞記事、テレビ・ラジオ出演など)
5. 研究所活動
 - (1) 運営委員会 食農アドバイザー会議
 - (2) 所内会議
 - (3) 研究ユニット会議
 - (4) 教育活動への寄与
 - (5) 研究所成果報告・研究年報・研究所だよりなど
 - (6) 意見交換会、広報活動など
6. 参考資料(別添資料)

食農協議会規約・名簿、食農アドバイザーボード規約・名簿、研究ユニット名簿等

1- (1) 地方創生や「食・農」にかかわる関係自治体の審議会・委員会における有識者委員としての参画：10件／年

※和歌山圏域および国関係の機関のみ。

氏名	審議会等の名称	資格	主催	団体種別	備考
① 大西敏夫	和歌山県農業改良普及連絡協議会	会長	和歌山県農林水産部	県・公共	
② 大西敏夫	和歌山県食育推進協議会	会長	和歌山県	県・公共	
③ 大西敏夫	近畿農政局農村振興関係交付金選定審査委員会	委員	農林水産省近畿農政局	国	
④ 大西敏夫	わかやま農商工連携ファンド事業審査会	審査委員	財団法人わかやま産業振興財団	財団法人	
⑤ 大西敏夫	和歌山県農地中間管理機構評価委員会	委員	公益財団法人和歌山県農業公社	公益財団法人	
⑥ 辻和良	紀北地域農業教育検討協議会	委員	和歌山県立紀北農芸高校	県・公共	
⑦ 辻和良	GAP取組状況の確認体制に関する検討会	委員	和歌山県農林水産部果樹園芸課農業環境・鳥獣害対策室	県・公共	
⑧ 岸上光克	和歌山県農業農村振興委員会	委員	和歌山県	県・公共	
⑨ 岸上光克	和歌山県農林水産部所管公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会	委員長	和歌山県	県・公共	
⑩ 岸上光克	マナビスト支援セミナー	講師	和歌山県教育委員会	県・公共	
⑪ 岸上光克	和歌山市防災会議	委員	和歌山県和歌山市	市・公共	
⑫ 岸上光克	美浜町日ノ岬・アメリカ村再生協議会 賑わい・観光開発部会	委員	和歌山県美浜町	市・公共	
⑬ 岸上光克	大阪府中央卸売市場指定管理者評価委員会	委員	大阪府	府・公共	
⑭ 岸上光克	地域課題とJAに関する研究会	委員	JC総研	公益財団法人	
⑮ 岸上光克	マーケティングに対応した生産部会のあり方に関する調査研究	委員	JC総研	公益財団法人	
⑯ 岸上光克	国産食肉等新需要創出緊急対策事業 優良事例調査委員会	委員	日本食肉消費総合センター	公益財団法人	
⑰ 植田淳子	農林水産省「SAVOR JAPAN(農泊 食文化海外発信地域)」	審査委員	農林水産省	国	
⑱ 藤田武弘	地域資源を活用した観光地魅力創造事業検討委員会	有識者委員	観光庁	国	
⑲ 藤田武弘	子ども農山漁村交流による地域活性化モデル事業審査委員会	審査委員	総務省	国	
⑳ 藤田武弘	わかやま和み暮らし推進協議会	会長	和歌山県	県・公共	
㉑ 藤田武弘	和歌山食材テラワール事業検討委員会	会長	和歌山県	県・公共	
㉒ 藤田武弘	和歌山県卸売市場審議会	会長	和歌山県	県・公共	
㉓ 藤田武弘	和歌山県グリーンツーリズム推進委員会	委員長	和歌山県	県・公共	
㉔ 藤田武弘	和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会	委員	和歌山県	県・公共	
㉕ 藤田武弘	みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会	有識者委員	みなべ町・田辺市	県・公共	
㉖ 藤田武弘	第4次かつらぎ町長期総合計画(後期基本計画)策定審議会	会長	かつらぎ町	県・公共	
㉗ 藤田武弘	日高川町まち・ひと・しごと創生有識者会議	委員	日高川町	県・公共	
㉘ 藤田武弘	日本農業賞審査委員	委員長	和歌山県農業協同組合中央会	団体	

1-(2)A 地方創生や「食・農」にかかわる課題抽出の場としての「地方創生推進協議会」の開催：3回／年

開催日	名称	場所	参加人数	会議内容
① 平成29年8月8日	地方創生推進・食農協議会	和歌山大学本部共通棟3階 会議室	4人	食農協議会規約の確認と会長・議長選出。会長・議長に県農林水産部の原部長を選出。案件：1)食農総合研究所の概要について、2)食農総合研究所の事業報告について、3)食農総合研究所事業計画について、4)意見交換、5)その他
② 平成29年8月8日	地方創生推進・食農協議会実務者会議	和歌山大学本部共通棟3階 会議室	7人 同上	
③ 平成30年3月7日	地方創生推進・食農協議会実務者会議	和歌山大学本部共通棟3階 会議室	7人	1)平成29年度食農総合研究所の業務ならびに活動結果について、2)食農総合研究所の今後の活動について、3)その他

1ー(2)B 地方創生や「食・農」にかかわる情報交流の場としての「リエゾンサロン」の開催：3回／年

開催日	名称	テーマ等	講師・報告者等	場所	参加人数	開催内容等
① 平成29年5月29日	研究所公開セミナー	地方創生に求められる地域サポーター人材の役割ー地域おこし協力隊の現状を踏まえてー	地域おこし協力隊サポーターデスク 総括相談員 小林和彦	和歌山大学国際観光学センター会議室	20人	報告のあと、意見交換・情報交換を行った。
② 平成29年6月1日	都市農村共生研究ユニット研究セミナー	多角化の視点から考える6次産業化	千葉大学 教授 櫻井清一	和歌山大学本部共通棟3階会議室	30人	講演のあと、意見交換・情報交換を行った。
③ 平成29年8月8日	研究成果報告	1)「企業の森」に関する経済波及効果、2)梅酢ポリフェノールのかぜ症候群・インフルエンザの予防に関する研究、3)農山地域への移住者の実態と受入側の課題、4)市民農園の新たな展開方式による都市農業再生方策。	1)大浦由美(観光学部教授、ICT活用研究ユニットリーダー)、2)三谷隆彦(食農総合研究所客員教授)、3)辻和良(食農総合研究所特任教授)、4)藤田武弘(観光学部教授、食農総合研究所副所長)	和歌山大学本部共通棟3階会議室	24人	各研究報告のあと、意見交換・情報交換を行った。
④ 平成29年9月27日	都市農村共生研究ユニット現地交流会	龍神村における移住者、女性・高齢者活動の現状と課題	龍神はーと 小川さだ 梅樹庵 竹内雅一	田辺市龍神行政局会議室 梅樹庵	7人	報告のあと、意見交換・情報交換を行った。
⑤ 平成29年10月19日	都市農村交流研究ユニット現地交流会	兵庫県篠山市と神戸大学との官学連携事業、篠山市の地域づくり	1)神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ プロگرامマネージャー 橋田 薫 神戸大学 准教授 中塚雅也 2)篠山市役所 創造都市課 課長 竹見聖司・係長 垣内田紀子 3)西紀南まちづくり協議会 事務局長 北山透	神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ 神戸大学篠山フェイワードス 西紀南地区みなみほっとサロン	7人	報告のあと、意見交換・情報交換を行った。
⑥ 平成29年10月24日	地域資源活用研究ユニット セミナー	地域づくり	いなか伝承者代表 田中寛人	和歌山大学経済学部5階第3会議室	10人	報告のあと、意見交換・情報交換を行った。
⑦ 平成30年2月16日	教育研究高度化研究会	「福島大学食農学類(仮称)の設置構想」について	福島大学農学系教育研究組織設置準備室 教授 荒井聡	和歌山大学本部共通棟3階会議室	13人	講演のあと、意見交換・情報交換を行った。
⑧ 平成30年3月1日 ～2日	「地方創生」現地検討会	1)島根県中山間地域研究センター、2)雲南市役所政策企画部、3)雲南市地域自主組織「躍動と安らぎの里づくり鍋山」	1)島根県中山間地域研究センター 企画情報部・主席研究員 有田昭一郎、2)「躍動と安らぎの里づくり鍋山」会長 秦美幸、3)雲南市制作企画部 企画官 板持周治	島根県中山間地域研究センター会議室、雲南市鍋山交流センター、雲南	11人	現地での報告のあと、意見交換・情報交換を行った。
⑨ 平成30年3月15日	現地研究会	園芸産地の振興と人材育成	1)講演:愛媛大学農学部・大学院農学研究科 教授 板橋衛、2)現地報告:和歌山大学食農総合研究所 辻和良	JA紀州印南支店3階大会議室	37人	現地で講演、報告のあと、意見交換・情報交換を行った。

2- (1) 寄附講義の開講(学部開放講義としてリカレント教育にも対応)の開講: 1科目(一般受講者10名、学生20名以上) / 年

講義名	講義内容	受講者	講義の目的・成果	備考
<p>地域づくり戦略論(後期) 南紀熊野サテライト学部開放科目</p>	<p>地方創生が叫ばれる昨今、農山村再生手法として注目を集める都市農村交流では、農作業や農村での生活体験を共有することにより「もてなし」を提供する側と享受する側との関係に立って、相互に喜びを共有する精神性(ホスピタリティの精神)に基づく関係性を構築することが重要である。本講義では「都市農村交流によるホスピタリティ人材の育成」をテーマに掲げ、①戦略的地域づくりのための理論、②先進地の「地域づくり・人材育成」実践、③地域資源を活用した「6次産業化」と地方創生、④都市農村関係の変化と新しいツーリズム、⑤日本農業の行方と農山村再生の戦略、の5つの視座から農山村における地域づくり戦略を考える。</p> <p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> □視座①: 戦略的地域づくりのための理論> ガイダンス(藤田武弘・和歌山大学) 【01】地域循環型社会構築の現代的意義(橋本卓爾・元和歌山大学) 9月30日13:00~14:30 【02】協同組合の現代的価値(小野雅之・神戸大学) 9月30日15:00~16:30 【03】中山間地域問題の可視化(有田昭一郎・島根県中山間地域研究センター) 10月1日9:00~10:30 □視座②: 「地域づくり・人材育成」実践の成果に学ぶ> 【04】地域経営のための合意形成と組織づくり(玉井常貴・榑秋津野) 10月28日13:00~14:30 【05】農商工連携とコミュニティビジネス(木村則夫・榑秋津野) 10月28日15:00~16:30 【06】産官学地域連携とコーディネーターの役割(岸上光克・和歌山大学) 10月29日9:00~10:30 □視座③: 地域資源を活用した「6次産業化」と地方創生> 【07】果樹産地における「6次産業化」の課題と展望(細野賢治・広島大学) 11月11日13:00~14:30 【08】漁業資源を活用した「6次産業化」(中澤さかな・道の駅 萩シーマート) 11月11日15:00~16:30 【09】「島を繁盛させる」離島の地域づくり(恒光一将・島根県海士町役場) 11月12日9:00~10:30 □視座④: 都市農村関係の変化と新しいツーリズム> 【10】都市農村関係の変化と日本型グリーン・ツーリズム(藤田武弘・和歌山大学) 1月6日13:00~14:30 【11】産直活動を通じた都市農村交流(宇田篤弘・紀ノ川農業協同組合) 1月6日15:00~16:30 【12】農産物直売所に求められる新たな役割と産消提携(平岡龍・JA紀の里体験農業部会) 1月7日9:00~10:30 □視座⑤: 日本農業の行方と農山村再生の戦略> 【13】日本農業の後継者問題を考える(山本淳子・独立行政法人農研機構) 2月3日13:00~14:30 【14】地域サポート人からみた農山村再生(岡司直也・法政大学) 2月3日15:00~16:30 【15】世界の食料問題と日本農業(大西敏夫・和歌山大学) 2月4日9:00~10:30 □特別講義とまとめ> 【16】地域再生と地域内再投資力論(岡田知弘・京都大学) 2月17日13:00~14:30 	約50人	<p>講義の総括およびそれぞれの視座から提供される講義のコーディネーターは主任講師がとめるが、産官学地域連携の視点から、民間事業者、地域住民も講師陣に加えるほか、農村地域再生にかかわる全国的議論をリードする大学教員や実践者をゲストスピーカーに迎えることで、時宜にかなわった体系的な学びの場を提供をめざす。</p>	<p>江頭ホスピタリティ事業振興財団 「寄附講義」 (主任講師: 藤田武弘)</p>

2-1(2) 地方創生や「食・農」にかかわる自治体および関係団体からの受託・共同研究: 2件/年

名称	予算規模	受託・共同研究別	委託元	研究代表者	参加教員	研究概要(記述中)
① 梅酢ポリフェノールのかぜ症候群・インフルエンザの予防に関する研究	40,000,000	共同研究	紀州田辺うめ振興協議会 会長 真砂 充敏	大西敏夫	三谷隆彦	梅酢ポリフェノールのかぜ症候群・インフルエンザの予防に関する研究について、和歌山県立医科大学との連携による臨床試験をを踏まえ実施している。
② 観光素材の掘り起し及びコーデイネート事業	3,000,000	共同研究	紀美野町	岸上光克	大西敏夫、藤田武弘、藤田和史、辻和良、杉本敏男、植田淳子、大浦由美	農業・農村分野を重点に置いて、以下の3調査(①農家全戸調査、②テーマ別(移住者・農家民泊)調査、③観光周遊調査)を行うことにより同町の現状把握と今後の展開について検討する。
③ 市民農園の新たな展開方式による都市農業再生方策に関する研究	800,000	共同研究	JAわかやま	藤田武弘	大西敏夫、大浦由美、辻和良、植田淳子	和歌山市内・都市的領域における市民農園・体験農園の取組・普及について、県外の先進事例の調査を踏まえながら、新たな方策について研究・開発している。
④ 田辺市旧二川小学校活用基本計画策定業務	980,000	受託研究	田辺市	岸上光克	大西敏夫、藤田武弘、辻和良、植田淳子	閉校となっている旧二川小学校を有効活用するため、和歌山大学(食農総合研究所)との連携により、活用の方向性に係る基礎調査を行い、基本計画を策定する。

3- (1) 地方創生や「食・農」にかかわる研究成果(学術図書・学術論文等の公表) : 5編以上/年

氏名	業績	発行所	掲載誌・書名 書名・巻号・頁数	発行年	業績内容	査読の有無	備考	概要
① 冨田理紗・藤井至・藤田武弘	農業・農村の担い手確保からみた都市農村交流活動の役割と意義-農村ワーキングホリデーを事例に-	日本農業市場学会	農業市場研究 第26巻第1号、pp.65-71	平成29年6月	学術論文	有	分担執筆	
② 大西敏夫	集落まるごと6次産業化による地域創生の取り組み-奈良県桜井市笠地区の取組事例-	筑波書房	そばによる地域創生、そばの生産・流通と6次産業化、農商工連携(日本農業市場学会研究叢書⑩)、pp.85-103	平成29年7月	学術図書(論文)	無	分担執筆	
③ 大西敏夫	和歌山県における農業集落の現況と地域的特徴-2010年センサス「農業集落調査」結果分析を中心に-	和歌山大学経済研究所	地域研究シリーズ52、pp.1-29	平成29年7月	論文	無	単著	
④ T.MITANI et al.,	Chemical Features of Phenolic Extracts Prepared on an Industrial Scale from a Processing Byproduct of the Japanese Apricot, Mume Fruit (Prunus mume Sieb. et Zucc.)	日本食品工学会	Japan Journal of Food Engineering, Vol. 18, No. 3, pp. 147 - 152	2017年	学術論文	有		梅干し製造副産物の梅酢から工業的に製造したフェノール化合物の化学的分析
⑤ 大西敏夫	ウマ主産地における6次産業化の展開状況-和歌山県田辺・みなべ地域-	農林統計協会	戦後日本の食料・農業・農村 第8巻、pp.427-446	平成30年2月	学術図書(論文)	無	分担執筆	
⑥ 大西敏夫	都市化と農地保全の展開史	筑波書房	都市化と農地保全の展開史、pp.1-246	平成30年2月	学術図書	無	単著	
⑦ T.MITANI et al.,	Antimicrobial activity of the phenolic compounds of Prunus mume Sieb et Zucc. against enterobacteria	日本薬学会	Biological and Pharmaceutical Bulletin, Vol. 41, No.2, pp. 1 - 6	2018年	学術論文	有		梅の抗菌作用は腸内ではクエン酸ではなく、果実由来のフェノール化合物が関与する
⑧ 濱中大輝・小野寺真穂・辻和良・川村和史	和歌山県における大規模稲作農家の経営実態と課題	和歌山県農林水産部	和歌山県農林水産研究報告・第5号、pp.23-29	2017	論文	無	共著	
⑨ 八島雄士・岸光克	社会的企業における戦略マップの適用可能性-地域経営組織におけるアクリンリサーチ-	メルコ学術振興財団	メルコ管理会計研究(受理済み)	2017	論文	有		
⑩ 大西敏夫	都市農業における経営展開の可能性とその条件	昭和堂	農業と経済 Vol.84 No.2(2018年3)	平成30年3月	学術論文	無	単著	

3-2 地方創生や「食・農」にかかわる自治体および関係団体主催の講演・セミナーでの報告・提言：10件／年

氏名	小分類(講演会・研究会・セミナー等)	題目	講演会	主催	開催日	参加人数
① 大西敏夫	講演会	「和歌山の風土と経済－県農業の動向・特徴を中心に」	UAゼンセン和歌山支部「まちづくりセミナー」	UAゼンセン和歌山支部	平成29年4月7日	25人
② 植田淳子	講演会	地域の知恵を食育にいかす～大分県宇佐市安心院町グリーンツーリズム研究会の事例をもとに～	平成29年度総会	那賀地方生活研究グループ連絡協議会	平成29年4月27日	55人
③ 岸上光克	合同ゼミ	紀美野町飲食店来店者のアンケート調査結果報告	高大連携合同ゼミナール	和歌山県教育委員会	平成29年7月7日	50人
④ 岸上光克	講演	農村で暮らす～6次産業化や農商工連携の本質とは～	高等学校産業教育研修講座	和歌山県教育委員会	平成29年7月26日	40人(8人)
⑤ 岸上光克	パネルディスカッション(コーディネーター)	棚田(パネルディスカッション)	第4回 わかやまの棚田・段々畑サミット	和歌山県棚田等保全連絡協議会	平成29年8月24日	380人
⑥ 植田淳子	講演会	勇気をもって一歩踏み出そう！～わかやまに、家に人を迎えよう～	近畿地域農山漁村女性のつどい	和歌山県生活研究グループ連絡協議会	平成29年8月30日	200人
⑦ 岸上光克	講演、コーディネーター	多様な農業・農村の担い手～「強い農業」と「田園回帰」～	関西広域連合 職員研修	関西広域連合	平成29年8月31日	50人
⑧ 辻和良	講演	一歩進める我が家の経営分析	女性の経営参画支援研修会	西牟婁振興局農業水産振興課	平成29年9月6日	30人
⑨ 辻和良	講義	農業経営特論	非常勤講師	和歌山県農林大学校	平成29年9月12日～ 平成30年2月6日 (7回、15時間)	24人
⑩ 岸上光克	講演	移住者の多様な「しごと」	紀美野町@和歌山 まるわの移住計画	紀美野町	平成29年9月13日	15人
⑪ 岸上光克	講演	なぜ、いま「食と農」なのか？	全国大学生協連合会 全国食堂セミナー	全国大学生協連合会	平成29年9月14日	200人
⑫ 岸上光克	講演	地域経営をめぐる最新事情－地域運営組織(RMO)とは－	デザインেশョンの観光産業を担う中核人材育成講座	観光庁	平成29年9月27日	18人
⑬ 岸上光克	講演	「地域」学習の意味	総合的学習時間	海南高校大成校舎	平成29年10月11日	180人
⑭ 植田淳子	講演	農村民泊：これから民泊をはじめには？	篠山フィアールドステーション	神戸大学 篠山フィアールドステーション	平成29年10月19日	40人
⑮ 岸上光克	講演	産官学地域連携とコーディネーターの役割	平成29年度地域づくり戦略論	江頭ホスピタリティ事業振興財団	平成29年10月29日	40人
⑯ 岸上光克	講演	農業と観光	特別講義	和歌山県農林大学校	平成29年11月29日	20人
⑰ 岸上光克	講演	地方創生に向けた多様な農業のあり方	アグリビジネス公開講座	和歌山県農林大学校	平成29年11月30日	85人
⑱ 藤田武弘	検討会議	和歌山大学観光学部の人材育成	クールジャパン人材育成検討会議報告	内閣府	平成29年5月15日	55人
⑲ 藤田武弘	シンポジウム(コーディネーター)	デザインেশョン都市に向けた「和歌山の魅力」とは	和歌山市インパウンド・シンポジウム	紀州おもてなし塾・和歌山市	平成29年6月4日	300人
⑳ 藤田武弘	研修会	現代日本農業論	営農指導員(上級)養成研修講義	JA和歌山県中央会	平成29年8月7日	10人
㉑ 藤田武弘	研修会	都市農村交流が拓く農山村再生の可能性	全国地域リーダー養成塾一般研修	地域活性化センター・総務省	平成29年9月1日	75人
㉒ 藤田武弘	講義	始まった都市と農村の新たな関係	地域活性化システム論講義	内閣府	平成29年11月25日	45人
㉓ 藤田武弘	研修会	ソーリズムの新たな潮流と地域活性化	和歌山県商工会議所経営指導員研修会	紀州有田商工会議所	平成29年12月6日	20人
㉔ 藤田武弘	講義	都市農村関係の変化と日本型グリーンツーリズム	平成29年度地域づくり戦略論C	江頭ホスピタリティ事業振興財団	平成30年1月6日	50人
㉕ 岸上光克	講義	南紀におけるグリーンツーリズム	デザインেশョンの観光産業を担う中核人材育成講座「ウォリアーズ研修」	和歌山大学国際観光学研究センターDMO研究ユニット、観光学部 事業連携委員会	平成30年1月18日	10人
㉖ 岸上光克	記念講演	地域資源・観光資源としての梅(LUME)	第23回全国梅サミット	全国梅サミット協議会	平成30年2月16日	200人
㉗ 岸上光克	記念講演	地域資源・観光資源としての梅	四日市市制施行120周年記念「日永梅林・登城山」を復活させる会20周年記念講演会	「日永梅林・登城山」を復活させる会	平成30年3月17日	80人

4-(1) 学会発表・研究会報告等

氏名	題目	学会・研究会名	主催	開催日	場所	備考
① 山本奈美、三谷 隆彦、有田幹雄他	減塩を目的とした山椒による塩味増強作用の検討	第6回臨床高血圧フォーラム	日本高血圧学会	平成29年5月13日	岡山コンベンションセンター	
② 山本奈美、三谷 隆彦、有田幹雄他	減塩を目的とした山椒による塩味増強作用の検討	日本家政学会69回大会	日本家政学会	平成29年5月28日	奈良女子大学	
③ 辻和良・植田淳子	中山間地域における移住者の受け入れに対応する農家意識－和歌山県紀美野町農家アンケート結果を中心に－	日本農業市場学会2017年度大会(個別報告)	日本農業市場学会	平成29年7月2日	岩手大学	
④ 阪井加寿子・貫田理紗・藤田武弘	UIターン移住者の実態と農村移住支援についての考察	2017年度日本農業市場学会大会(個別報告)	日本農業市場学会	平成29年7月2日	岩手大学	
⑤ 藤井至・稲葉修武・藤田武弘	都市農業をめぐる新たな環境変化と都市農村交流の展開可能性	日本農業市場学会大会(個別報告)	日本農業市場学会	平成29年7月2日	岩手大学	
④ 岸上光克	地域経営をめぐる最新の動向－地域運営組織とは－	メルコ学術振興財団研究助成 和歌山研究会	メルコ学術振興財団(研究代表:八)	平成29年8月8日	秋津野ガルテン	
⑤ 森口仁文・鈴木利雄・植田尚亨・岸上光克・稲葉伸也	和歌山県産柿果実の栄養・機能性成分に関する調査研究	第64回大会 公益社団法人 日本食品科学工学会	公益社団法人 日本食品科学工学会	平成29年8月29日	日本大学 湘南キャンパス	
⑥ 藤田武弘	和歌山大学観光学部の取組と人材育成	第8回国際観光医療学会 学術集会	国際観光医療学会	平成29年10月14日	ダイワロイネットホテル和歌山	
⑦ 植田淳子・辻和良・藤田武弘	加工グループ活動を通じた農家女性の主体形成の特質	日本農村生活学会	日本農村生活学会	平成29年10月14・15日	東京農業大学	
⑧ 大浦由美・大西敏夫	これからの地域づくり－「田園回帰」志向を農山村はどう受け止めるか－	農村計画学会 2017年度秋期シンポジウム	農村計画学会	平成29年11月25日	和歌山大学 システム工学部 A101 大講義室	大浦由美:コメンテーター、大西敏夫:コーディネーター
⑨ 植田淳子	グリーンツーリズム事業導入における農家女性の主体形成の変容	日本村落研究学会 関西研究会	日本村落研究学会 関西研究会	平成29年12月26日	キャンパスプラザ京都	
⑩ Kumi Kato, Yumi Ooura, Junko Ueda	Wood Girls, Agri-women & Fisher-women: women empowering sustainable tourism in rural communities in Japan	CRITICAL TOURISM STUDIES ASIA-PACIFIC	CRITICAL TOURISM STUDIES	平成29年3月3～6日	Gadjah Mada University, Yogyakarta, Indonesia	

4-(2) 科学研究費・その他競争的資金、委託研究等

氏名	課題名	競争的資金名	主催機関	代表・分担別	備考
① 大西敏夫	生産緑地制度下における都市農地の保全と活用に関する研究	平成27～29年度基盤研究(C)	日本学術振興会	研究代表者	
② 山本奈美(代表)、三谷隆彦	高血圧症患者における山椒による塩味増強作用の検討	山崎香辛料振興財団研究助成	公益財団法人 山崎香料振興財団	分担	
③ 辻和良	地方創生時代の農産物直売所に求められる機能と新たな運営方式に関する研究	平成27～29年度基盤研究(C)	日本学術振興会	代表者	研究分担者:岸上光克、藤田武弘、植田淳子
④ 辻和良、岸上光克	国産レモンのバリューチェーン構築によるカンキツ産地の維持と需要拡大戦略	平成27～29年度基盤研究(C)	日本学術振興会	研究分担者	研究代表 広島大学 細野賢治
⑤ 榎本敏男	コムギ種子タンパク質含量増加に関与するホスホピルビン酸カルボキシラーゼ分子種の同定:ブレンド米粉パン用コムギ種子の品質改善のため		公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団 平成28年度年報 第32巻 299頁～308頁(平成29年8月)	代表	
⑥ 藤田武弘・岸上光克	DMO形成による地域の価値創造基盤再構築事業	平成28年度独創的研究支援プロジェクトA	和歌山大学	研究分担者	研究代表者:八島雄士(観光学部)
⑦ 岸上光克	RMO展開プロセスと「公共領域拡大型」行政支援に関する研究	平成29年度独創的研究支援プロジェクトA	和歌山大学	研究代表	研究代表者:岸上光克、研究分担者:藤田武弘、辻和良、杉本敏夫
⑧ 岸上光克	観光素材の掘り起し及びコーディネート事業	共同研究	紀美野町	研究代表	研究代表者:岸上光克、研究分担者:藤田武弘、辻和良、杉本敏夫
⑨ 岸上光克	田辺市旧二川小学校活用基本計画策定業務	受託研究	田辺市	研究代表	
⑩ 藤田武弘	新たな人口移動を契機とする農山村地域の経済およびコミュニティの変容に関する研究	平成28年～30年度基盤研究(C)	日本学術振興会	研究代表者	研究分担者:辻和良、岸上光克、植田淳子、大西敏夫
⑪ 藤田武弘	市民農園の新たな展開方式による都市農業再生方策に関する研究	平成27年～29年度共同研究	JAWAわかやま	研究代表者	

4-(3) その他(雑誌論説、研究報告書・研究資料、新聞記事、テレビ・ラジオ出演など)

氏名	分類	題目	機関名・巻号名	発行所・番組名称等	開催日	備考
① 藤田武弘	新聞記事	和歌山大観光学部が国連世界観光機関の認証を国内初取得		産経新聞	平成29年4月4日	
② 藤田武弘	新聞記事	観光学の国際拠点に和が大が国連機関認証		わかやま新報	平成29年4月5日	
③ 大西敏夫	論説	都市農業振興・都市農地保全に向けた最近の動きと課題	「大阪農民会館だより」第154号	(一財)大阪農業振興協会	平成29年4月25日	
④ 辻和良	雑誌論説	ウメ農家の経営効率を考える	和歌山の果樹・2017年5月号	和歌山県農業協同組合連合会	平成29年5月1日	
⑤ 三谷隆彦	新聞記事	実ザンジョウ堪能		日本農業新聞	平成29年6月8日	
⑥ 辻和良	雑誌論説	温州ミカン農家の隔年結果対策と経営改善の方向	和歌山の果樹・2017年7月号	和歌山県農業協同組合連合会	平成29年7月1日	
⑦ 藤田武弘	新聞記事	グローバル時代をひらく(和歌山大学・国際観光学研究センター)	大学特集	日本経済新聞	平成29年7月5日	
⑧ 杵本敏男	研究報告書	コムギ種子タンパク質含量増加に関与するホスホレピン酸カルボキシラーゼ分子種の同定:アレルド米粉パン用コムギ種子の品質改良	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団 平成28年度年報 第32巻 299頁～	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	平成29年8月	
⑨ 藤田武弘	ラジオ放送	日本の農業・農村を元気に(日本の農業とIAの役割～中家徹・全中会長就任記念特集)		和歌山放送	平成29年8月12日	
⑩ 辻和良	雑誌論説	線形計画法を利用した経営計画	和歌山の果樹・2017年9月号	和歌山県農業協同組合連合会	平成29年9月1日	
⑪ 杵本敏男		植物の機能とヒトの知恵	和歌山大学岸和田サテライト	第96回浪切サロン	平成29年10月18日	
⑫ 辻和良	雑誌論説	線形計画モデルの作成とXLPの利用	和歌山の果樹・2017年11月号	和歌山県農業協同組合連合会	平成29年11月1日	
⑬ 三谷隆彦	新聞記事	梅酢ヒトの風邪に効果 梅酢ポリフェノール臨床試験		産経新聞	平成29年12月7日	
⑭ 三谷隆彦	新聞記事	風邪やインフル症状軽減確認 梅酢ポリフェノール臨床試験		読売新聞	平成29年12月8日	
⑮ 三谷隆彦	新聞記事	鼻水、のどに梅が効く 梅酢ポリフェノール臨床試験		毎日新聞	平成29年12月10日	
⑯ 三谷隆彦	テレビ報道	梅酢ポリフェノール臨床試験		NHK・あすのWA	平成29年12月13日	
⑰ 辻和良	雑誌論説	和歌山県農山村地域への移住の実態	和歌山の果樹・2018年1月号	和歌山県農業協同組合連合会	平成30年1月1日	
⑱ 杵本敏男	雑誌論説	緩効性窒素肥料を用いた窒素栄養の学習とその教育効果	農業と科学、1月号	ジェイカムアグリ株式会社	平成30年1月1日	
⑲ 辻和良	雑誌論説	レモンの需給動向と国産レモンの産地化ー広島レモンの取り組みー	和歌山の果樹・2018年3月号	和歌山県農業協同組合連合会	平成30年3月1日	

5. 研究所活動

(1) 運営委員会 食農アドバイザー会議

○運営委員会

開催日	場所	開催内容	備考
① 平成29年6月20日	和歌山大学経済学部本館5階 第3会議室	1) 研究所運営委員会規程、2) 研究所事業報告、3) 研究所事業計画 (案)、4) その他	
② 平成30年3月20日	和歌山大学本部共通棟3階会 議室	1) 研究所事業結果、2) 研究所次年度事業計画(メモ)、3) その他	

○食農アドバイザー会議

開催日	場所	開催内容	備考
① 平成29年8月18日～ 20日	長野県飯田市内	地方創生・食農アドバイザーボード現地検討会：農家民泊対面式見学、 アドバイザーボードミーティング、牧野光朗飯田市長講演、「農家民宿 (太田いく子さん)訪問・意見交換等	

5. 研究所活動

(2) 所内会議

開催日	開催内容	備考
平成29年4月3日	食農総合研究所の体制と活動方向、昨年度の反省と今後の活動など	
平成29年4月11日	食農総合研究所の活動計画及び今後の方向など	
平成29年4月25日	食農総合研究所の業務・活動計画、研究ユニット公募についてなど	
平成29年5月9日	食農総合研究所のパンフレットの作成、研究ユニットの取り組みなど	
平成29年5月23日	研究ユニット参加教員の応募確認、運営委員会開催の件、地方創生・食農協議会及び実務者メンバー確認など12	
平成29年6月13日	研究ユニット参加教員の応募確認、運営委員会開催の件、研究ユニット全体会議開催の件など	
平成29年6月27日	各研究ユニット取組の件、食農協議会・実務者会議の件、食農アドバイザー現地検討会など	
平成29年7月11日	予算関する基本方針、各研究ユニット会議の開催計画、食農協議会・実務者会議の件、食農アドバイザー現地検討会など	
平成29年7月25日	各研究ユニット会議結果、各種意見交換会結果、食農協議会、実務者会議の件、意見交換会の開催など	
平成29年8月8日	食農アドバイザー現地検討会の開催の件、各種現地検討会・意見交換会の開催など	
平成29年8月22日	紀美野町共同研究の件、地域課題現地検討会の件、うみ・ひと・くらしんボジウム2017イン和歌山の開催など	
平成29年9月19日	研究ユニットの取組みについて、本年度予算執行について、研究所ホームページの充実についてなど	
平成29年10月16日	都市農村研究ユニット現地交流会、資源活用研究ユニットセミナー、農村計画学会全国大会開催の件など	
平成29年11月13日	地域課題現地検討会の件、農村計画学会全国大会の件、紀美野町、二川地域の調査状況、今後の会議予定など	
平成29年11月27日	地域課題現地検討会の件、地方創生現地検討会の件、本年度予算執行について、当面のスケジュールなど	
平成29年12月11日	食農総合研究所の今後について、各研究ユニットの取組の件、今後のスケジュールについて	
平成29年12月25日	地域課題検討会の件、地方創生現地検討会の件、教育研究高度化研究会の件、研究年報の中間報告など	
平成30年1月5日	地域課題検討会の件、地方創生現地検討会の件、教育研究高度化研究会の件、関係会議関係の件など	
平成30年1月22日	地域課題検討会の件、地方創生現地検討会の件、教育研究高度化研究会の件、平成30年度関連など	
平成30年2月5日	各研究ユニット取組内容、地域課題検討会の件、地方創生現地検討会の件、教育研究高度化研究会の件など	
平成30年2月26日	地域課題検討会の件、地方創生現地検討会の件など	
平成30年3月5日	地域課題検討会の件、食農協議会実務者会議の件など	
平成30年3月26日	平成30年度の活動内容など	

5. 研究所活動

(3) 研究所研究ユニット会議

会議名	開催日	場所	開催内容	備考
① ICT研究ユニット情報交換会	平成29年5月31日	和歌山大学総合研究棟S204	和歌山県における農業ICTの展開可能性	
② 研究ユニット全体会議	平成29年6月19日	和歌山大学経済学部本館5階第2会議室	1)平成29年度食農総合研究所事業計画(案)について、2)各研究ユニットの本年度の取組について、3)その他(意見交換・意見聴取)	
③ 地域資源活用研究ユニット会議	平成29年7月18日	和歌山大学経済学部本館5階第3会議室	平成29年度研究ユニットの取り組み方針について	
④ 都市農村共生研究ユニット会議	平成29年7月20日	和歌山大学経済学部本館5階第3会議室	平成29年度研究ユニットの取り組み方針について	

5. 研究所活動

(4) 教育活動への寄与

講義名	講義内容	受講者	備考
学部開放科目・後期 「食農地域づくり入門」 (和歌山大学岸和田サ テアイト) 平成29年10月7日～11 月18日	<p>【授業のねらい・概要】 日本の豊かな食を支える農業・農村は危機的状況にあります。一方で、近年では、全国の農村では活性化に向けて様々な取り組みが見られます。国も「地方創生」を合言葉として、農業・農村を応援しています。本講義では、食と農の関係性の変化を把握するとともに、農業経営や都市農村交流、そして地域づくりについて現状と課題を把握し、今後の展開について検討します。</p> <p>【授業計画】 第1回食と農を取り巻く環境(担当:大西敏夫) なぜ、「食」と「農」と「地域づくり」が求められるのかを解説 第2回農村ビジネスと地域づくり(担当:岸上光克) 6次産業化や地域づくり(地域運営組織)の現状と課題について学ぶ 第3回グリーンツーリズムと農家女性(担当:植田淳子) GTの展開を把握するとともに、その担い手の中核となった農家女性の主体形成について学ぶ 第4回農業経営の組織と運営、診断と設計(担当:辻和良) 農業経営の基礎を学ぶとともに、ワークショップによる演習も行う 第5回岸和田市丘陵地区フィールドワーク(担当:岸上光克) (「JAいずみの」の取り組み、人参「彩誉」のブランド化、若手農業者4Hクラブの取り組み等) 第6回グループワーク発表(担当:岸上光克) グループごとに課題を設定し、解決方法について議論と報告を行う</p>	15人	講義・演習方式

5. 研究所活動

(5) 研究所成果報告・研究年報・研究所たよりなど

種類	発行日	内容	備考
① 研究成果第2号	2017年6月	地域経営のための合意形成と組織づくり (2016年度都市農村共生研究ユニット現地交流会記録)	
② 研究成果第3号	2017年6月	イノベーションが起こる地域社会創造を目指して-求められる共創の場づくり- (和歌山大学 食農総合研究所 公開セミナー「地方創生に求められる課題と展望」記録)	
③ 研究成果第4号	2018年3月	田辺市龍神村におけるUIターン者・女性活動の現状と課題 (2017年度都市農村共生研究ユニット現地交流会記録)	
④ 研究成果第5号	2018年3月	神戸大学と篠山市の地域連携活動の展開と課題 (2017年度都市農村共生研究ユニット現地交流会記録)	
⑤ 研究成果第6号	2018年3月	多角化の視点から考える6次産業化 (2017年度都市農村共生研究ユニット研究セミナー記録)	
⑥ 研究成果第7号	2018年3月	和歌山県農業展開史	
⑦ 平成29年度研究年報	2018年3月	食農総合研究所研究年報	

5. 研究所活動

(6) 意見交換会、広報活動、その他の活動など

名称	開催日	場所	内容	備考
① 県関係機関との意見交換会	平成29年7月12日	県庁内	経営支援課・普及班、研究推進室との情報交換・意見交換	
② 辻調理師専門学校との意見交換会	平成29年8月24日	和歌山大学観光学部学部長室	情報交換・意見交換	
③ 県JAグループ(農業振興センター)との意見交換会	平成29年8月25日	和歌山大学経済学部本館5階第3会議室	情報交換・意見交換	
④ うみ・ひと・くらしフォーラム	平成29年9月2日～3日	和歌山大学観光学部講義棟	情報交換・意見交換・現地視察	一般財団法人・東京水産振興会・食農総合研究所共催
⑤ 第2回農産物機能性活用研究会	平成29年9月8日	近畿大学生物理工学部3号館110教室	地域特産物の開発事例(福井県)や開発方法などの紹介	